

渡島・檜山地方の気象

平成26年冬（12～2月）のまとめ（2014年）

函館地方気象台

平成26年3月28日

◎ 平成26年冬（12～2月）の天候 — 「並温・少雨（少雪）・多照」

【気温】

3か月の平均気温は $-3.3 \sim 0.4$ °C で、平年差は $-0.4 \sim +0.1$ °C となり、厚沢部町鶉では平年より低く、そのほかの観測点では平年並だった。

【降水量】

3か月の降水量合計は $103.5 \sim 463.0$ mm で、平年比は $59 \sim 101\%$ となり、長万部・函館市美原・木古内・福島町千軒・今金・江差では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なく、特に松前・八雲町熊石・七飯町大沼・せたな町瀬棚では平年よりかなり少なかった。

【日照時間】

3か月の日照時間合計は $123.8 \sim 344.9$ 時間で、平年比は $100 \sim 128\%$ となり、せたな町瀬棚では平年並で、そのほかの観測点では平年より多く、特に長万部・八雲町八雲・函館市川汲・松前・厚沢部町鶉では平年よりかなり多かった。

◎ 月ごとの概況

【12月】「高温・並雨（少雪）・並照」

この期間の天気は、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で雪や雨の降る日が多かった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より少なく、月間日照時間は一部を除いて平年並だった。

【1月】「低温・並雨（並雪）・並照」

この期間の天気は、上旬と中旬は冬型の気圧配置で日本海側を中心に雪の降る日が多かったが、下旬は低気圧の通過や気圧の谷の影響で天気は短い周期的で変化し、気温は平年より高い日が多かった。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より少なく、月間日照時間は渡島地方では平年並～平年より多く、檜山地方では平年並～平年より少なかった。

【2月】「低温・少雨（少雪）・多照」

この期間の天気は、上旬から中旬までは冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪の降る日が多かったが、下旬は高気圧に覆われ晴れた日が続いた。

月平均気温は平年より低く、月降水量は平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年より多かった。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における平成 26 年冬（12～2 月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均 (°C)	平年差 (°C)	合計 (mm)	平年比 (%)	合計 (h)	平年比 (%)
函 館	-1.6	0.0 (平年並)	217.5	99 (平年並)	338.9	107 (多い)
江 差	0.0	-0.1 (平年並)	219.5	90 (平年並)	138.6	109 (多い)

(注) 表中平年比（差）の括弧内の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来 3 位までの記録）

該当無し

○ 降雪量・最深積雪

官署名	12 月		1 月		2 月		冬合計		冬最深積雪	
	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	(cm)	平年比 (%)
函 館	83	97	117	99	44	49	244	83	43	100
江 差	30	42	56	50	52	59	138	51	22	71

○ 真冬日の日数

官署名	12 月		1 月		2 月		冬合計	
	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差
函 館	1	-5.1	18	+5.7	9	+0.1	28	+0.8
江 差	1	-2.8	11	+1.3	12	+3.9	24	+2.4

※ 平年差は、本年の日数から平年値の小数第 1 位を四捨五入した整数値を引いた値。

四捨五入の関係で各月の平年差の合計と冬合計の平年差は、一致しないことがある。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

1 月 25 日 【渡島地方】 山がけ崩れ害	北海道付近を気圧の谷が通過中で、24 日から 25 日かけて気温の高い状態が続いていた。福島町の道道の斜面で土砂崩れが発生し、陸路が閉塞され 6 世帯 10 人が孤立した。防護壁やロックネット対策により 2 月 5 日両車線通行（日中帯）となった。ライフラインでは、電力、電話に被害があった。
1 月 27 日 【檜山地方】 海上波浪害	北海道の西海上の低気圧が 26 日日中通過し、冬型の気圧配置が強まってきた。26 日、奥尻島の漁港を出港した漁船 2 隻が行方不明となり、1 名は発見され死亡を確認、もう 1 名は発見に至っていない。

◎ 气象経過図

地上気象 气象経過図：2013年12月01日-2014年02月28日

江差

函館

